

平成30年度第15回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成31年3月18日（月）14時30分～15時30分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	田中 純二
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	進藤 三雄
地域連携・研究推進センター長	丸山 泰
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
環境共生学研究科長	北原 昭男
学校法人九州ルーテル学院長	内村 公春
欠席：崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
熊本県立高等学校長会長	和久田 恭生

事務局：齊藤事務局次長、多田隈教務入試課長、西嶋学生支援課長、前田総務課長、脇上企画調整室長、脇地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、平山教務入試課班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 平成31年度（2019年度）計画（案）について

事務局企画調整室から、資料1に基づき「第3期中期計画に定める「国際的な視野と認識を高める教育研究の推進」、「地域との幅広い協働を確立する教育研究の推進」、「社会や時代の状況を踏まえた対応」という重点事項の達成に向けて、第3期中期計画の2年目にあたる平成31年度の年度計画は、教育、研究、地域貢献、国際交流、業務運営の大学運営全般にわたり50項目の計画で構成している。」との話があり、重点事項である国際的な視野と認識を高める教育研究の推進、地域との幅広い協働を確立する教育研究の推進、社会や時代の状況を踏まえた対応等の内容について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教育の内部質保証システム（案）について

事務局企画調整室から、資料2に基づき「方針として本学のモットーや理念、3つのポリシーに基づく教育研究活動の適切な実施を通して、教育の質を保証していく。教育の内部質保証システムの基本的な考え方としては、推進組織の整備、PDCAサイクルによる確実な運用、教育の質に関する情報の公表等の3点を大きな柱とする。内部質保証推進委員会の取組内容としては、学部、研究科、事務局等から提出された点検結果の報告、学修評価に関する報告等に基づいて、内部質保証システムが適切に運用されているかを検証する。情報の公表では、本学の様々なステークホルダーに、教育の質を高める取組の状況とその結果もたらされる教育成果を積極的に公表する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 平成31年度（2019年度）入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針について

事務局教務入試課から、資料3に基づき「博士後期課程の秋季入学者の入学者選抜の実施方針について御審議いただきたい。募集人員はいずれも若干名。環境共生学研究科とアドミニストレーション研究科は「一般選抜」「社会人特別選抜」「外国人留学生特別選抜」の選抜区分を設けている。選抜の日程は外国人留学生のビザ取得の関係から一部変更し、3研究科とも選抜期日を7月上旬にする。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 平成31年度（2019年度）入学者選抜（（秋季入学・外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠））の実施方針について

事務局教務入試課から、資料4に基づき「秋季入学・外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠）の実施方針について御審議いただきたい。募集する研究科は環境共生学研究科博士後期課程。大学院秋季入学・外国人留学生特別選抜の中の特別枠として行う。募集人員は2名。選抜方法は英語の学力試験と口頭試問を行う。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 平成31年度（2019年度）非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料5-1、資料5-2に基づき「平成31年度の非常勤講師の採用について、各学部長、研究科長から推薦があった5名、6科目について御審議いただきたい。予定者は名簿のとおりである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

- ① 環境共生学部への食育推進プロジェクト移管に伴う規程等の整備について  
環境共生学部長から、資料6に基づき「地域連携・研究推進センター内に設置されている食育推進プロジェクトを環境共生学部に移管し、平成31年度から食育推進室として設置することに伴い、関係規程を整備する。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成30年度第16回 3月20日(水) 午前11時～  
本部棟2階 大会議室

5 閉会